



千葉県における汚濁負荷対策等の 取組状況について

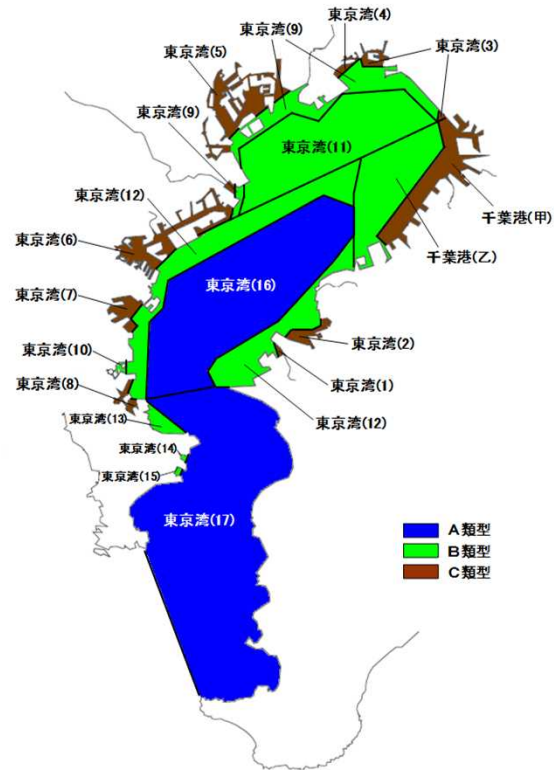
令和7年4月24日(木)
千葉県環境生活部水質保全課

(↓千葉の海パッケージデザイン:「万祝」アレンジ柄)



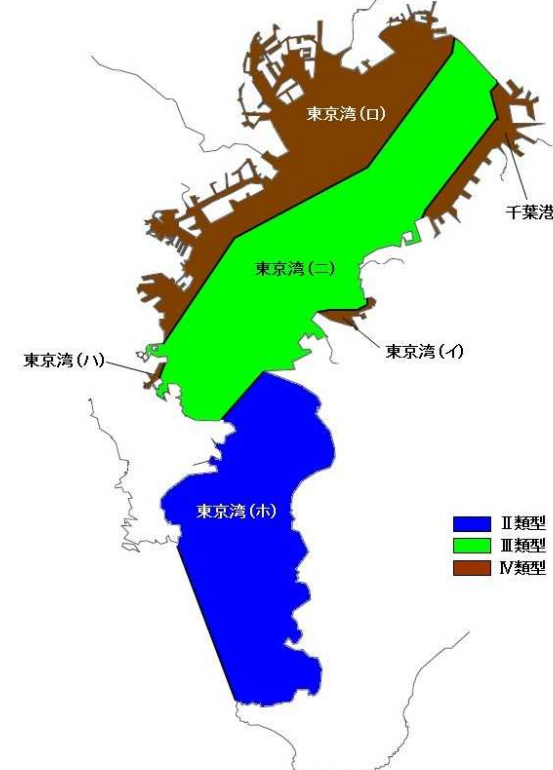
東京湾の水域類型と環境基準値

【化学的酸素要求量等(COD)】



項目	水域類型	基準値
COD	A	2 mg/L 以下
	B	3 mg/L 以下
	C	8 mg/L 以下

【全窒素、全りん】



項目	水域類型	基準値
全窒素	II	0.3mg/L 以下
	III	0.6mg/L 以下
	IV	1 mg/L 以下
全りん	II	0.03mg/L 以下
	III	0.05mg/L 以下
	IV	0.09mg/L 以下

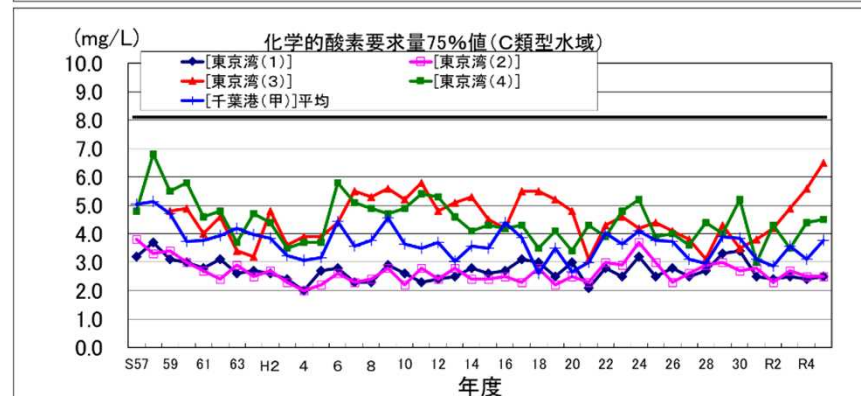
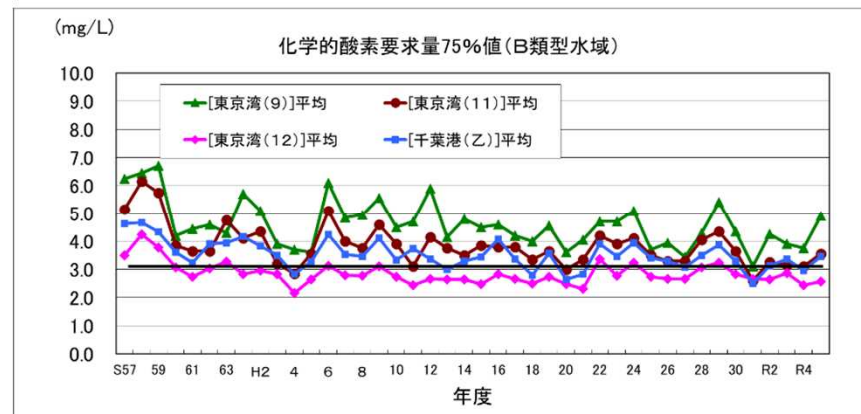
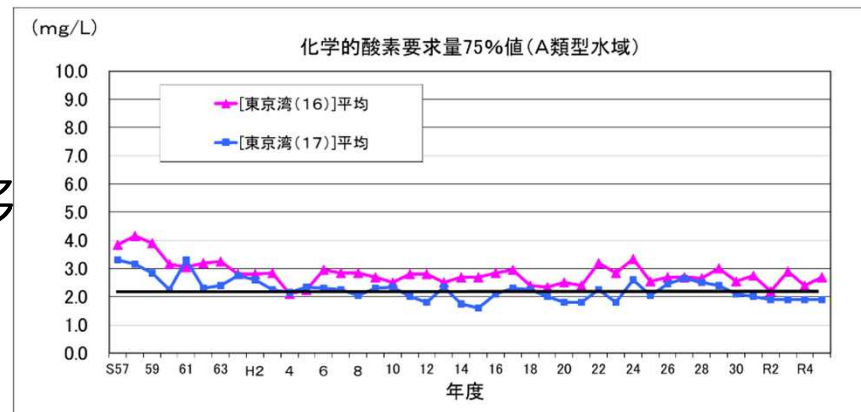
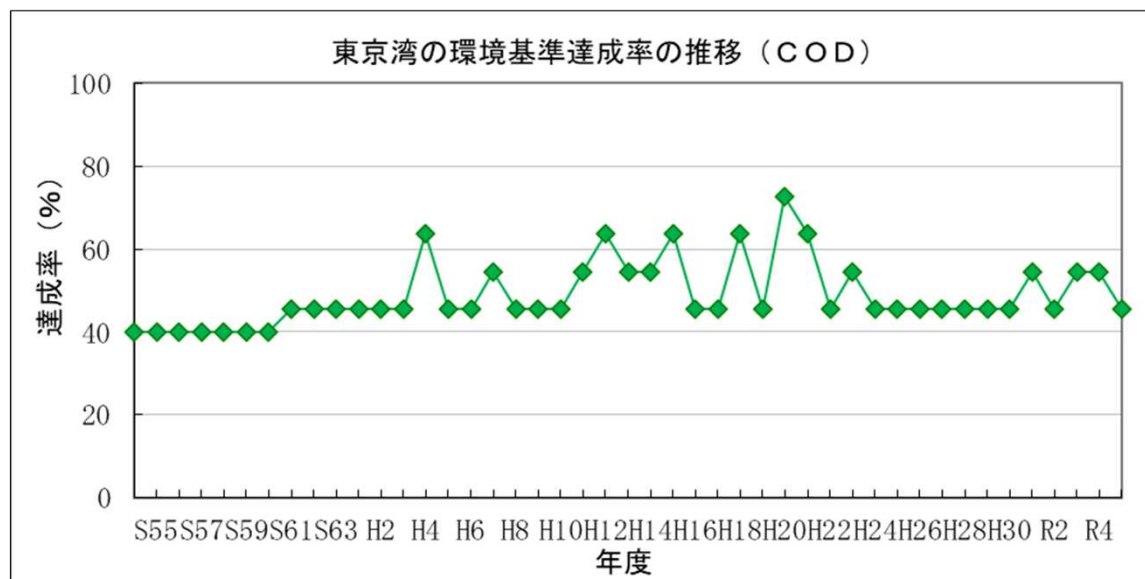
千葉県の水質の現状

環境基準達成状況の推移

【化学的酸素要求量】

○近年の環境基準達成率は40～60%を推移

○A類型、B類型、C類型ともに、水質はほぼ横ばいを推移。



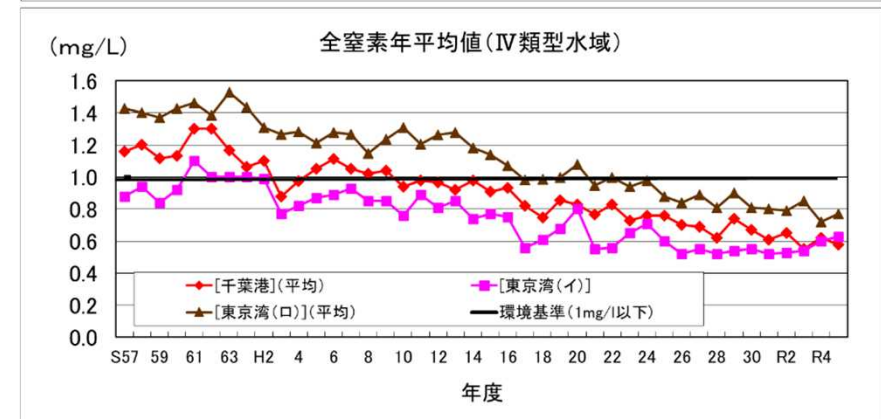
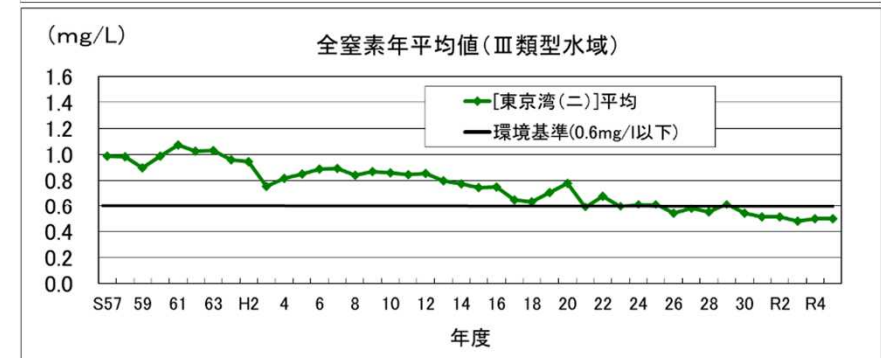
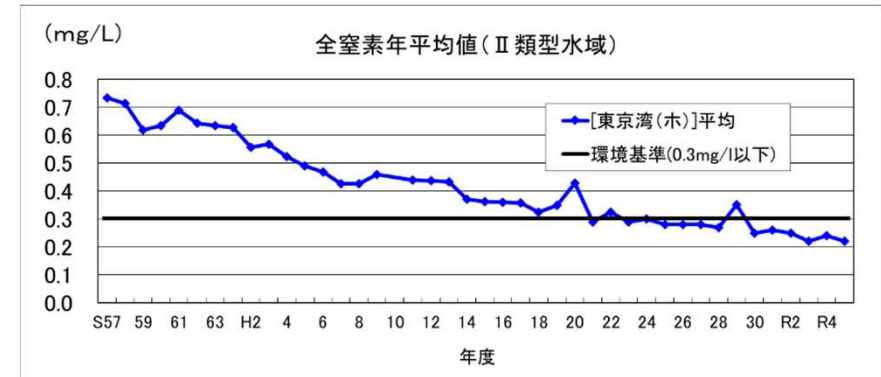
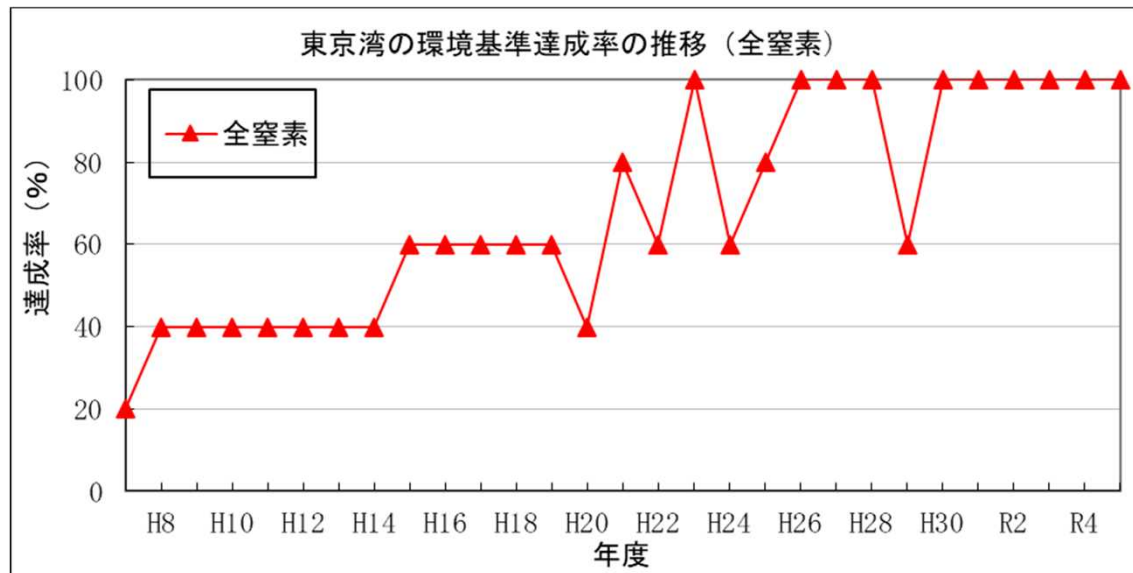
千葉県の水質の現状

環境基準達成状況の推移

【全窒素】

○近年の環境基準達成率は100%

○長期的に改善傾向であり、近年は横ばい



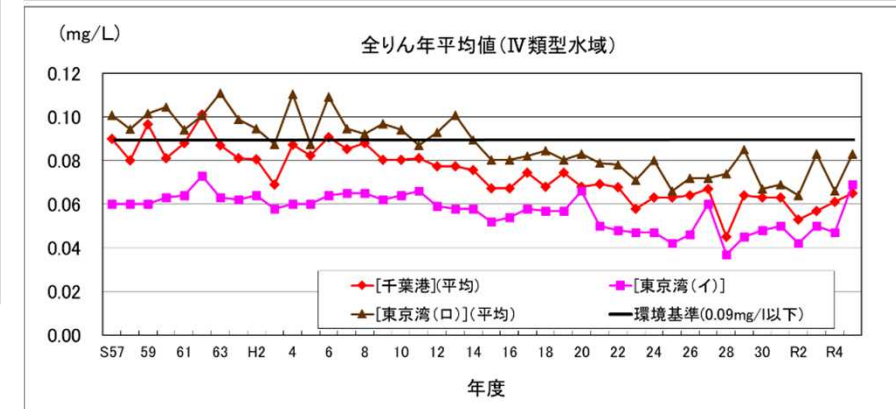
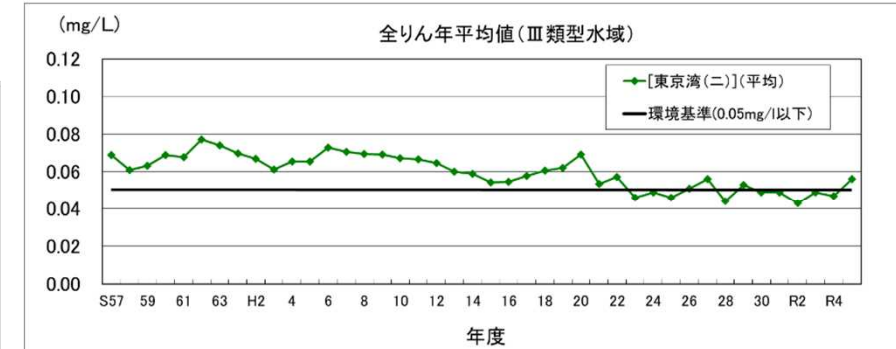
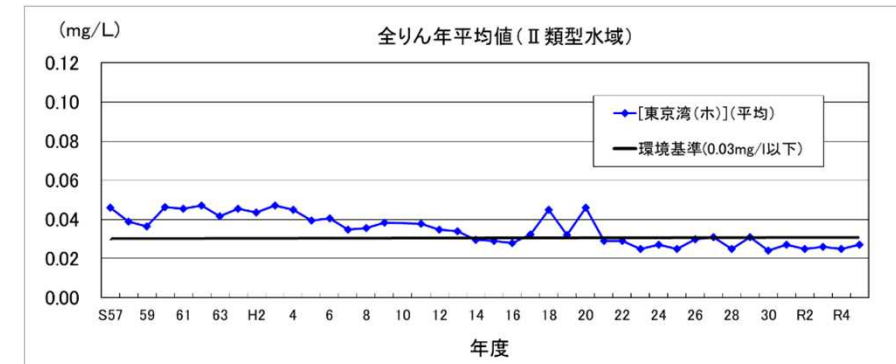
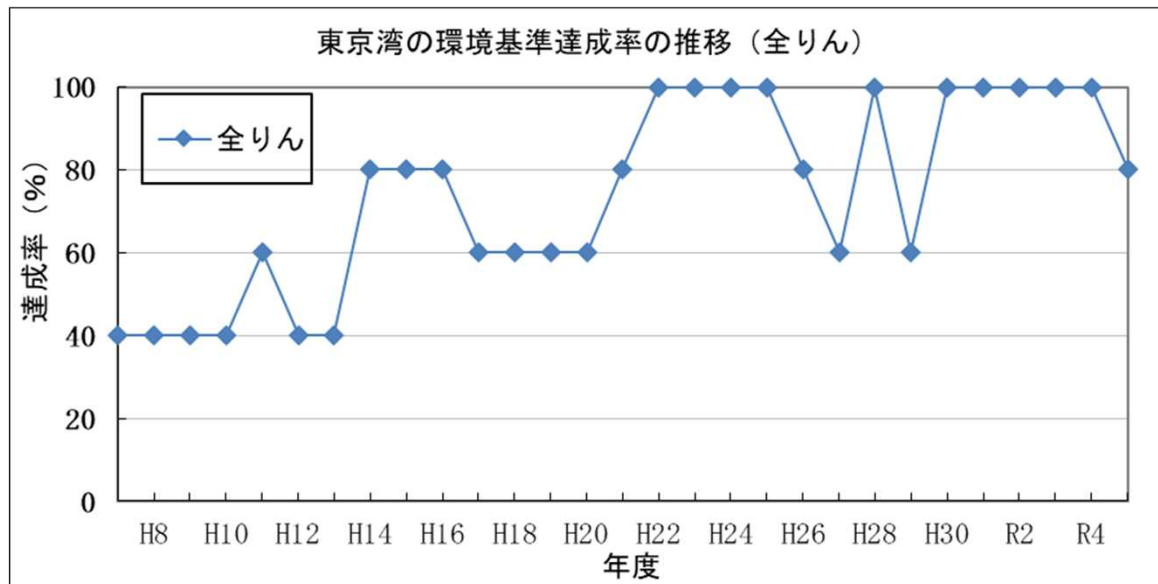
千葉県の水質の現状

環境基準達成状況の推移

【全りん】

○近年の環境基準達成率は80～100%

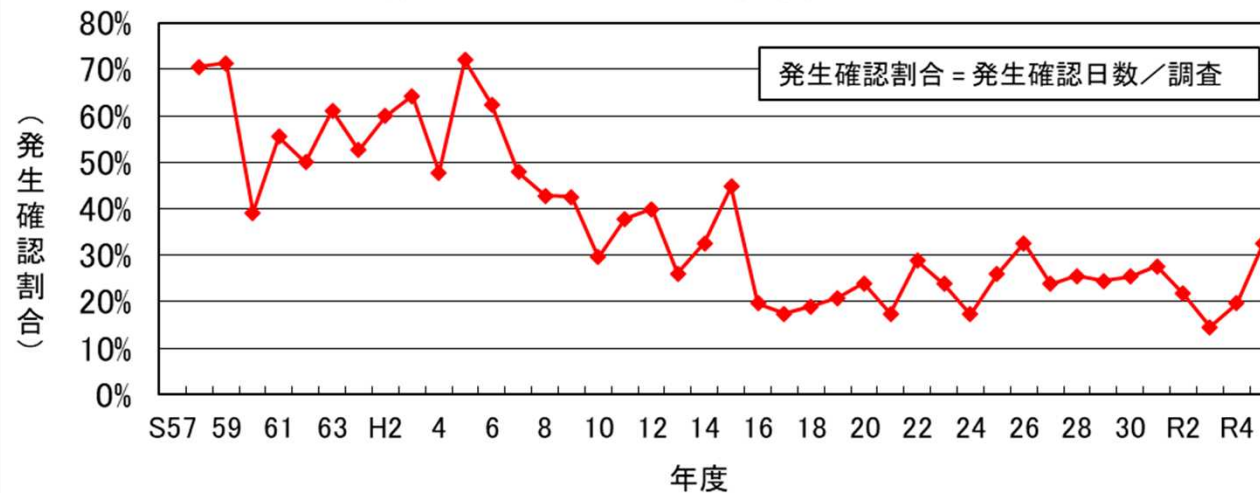
○長期的に改善傾向であり、近年は横ばい



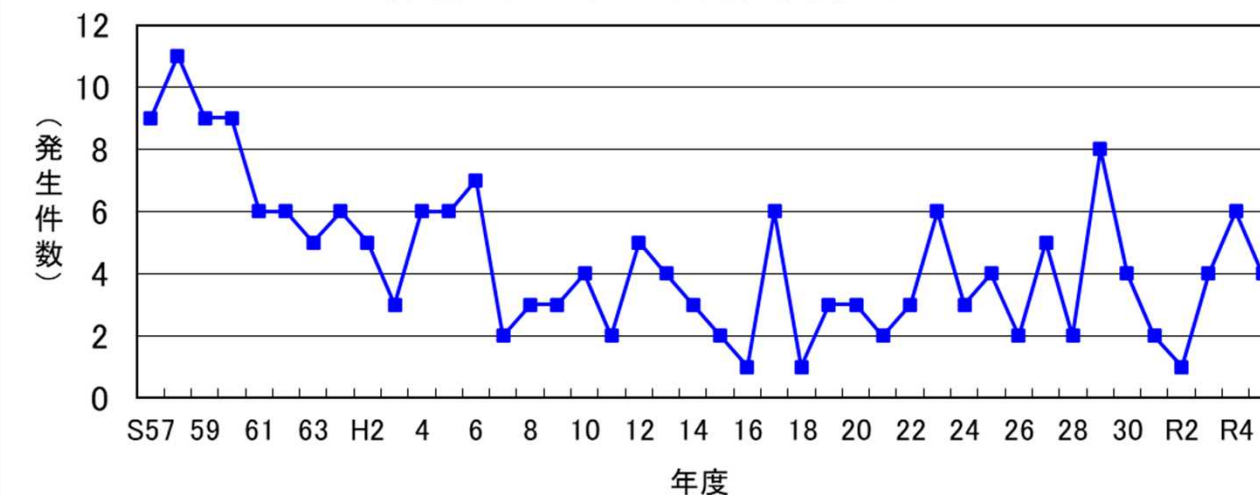
千葉県の水質の現状

赤潮・青潮の発生状況

赤潮の発生状況(千葉県調査)



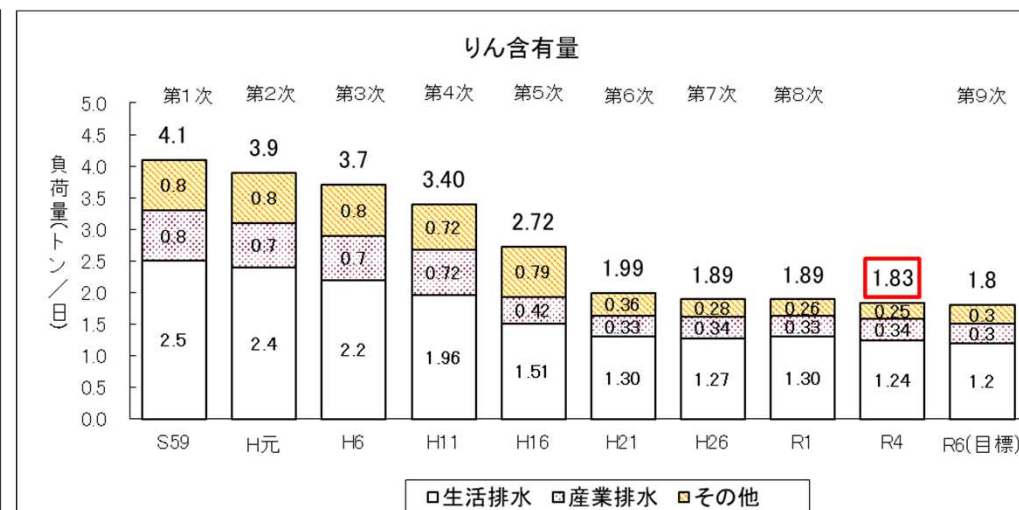
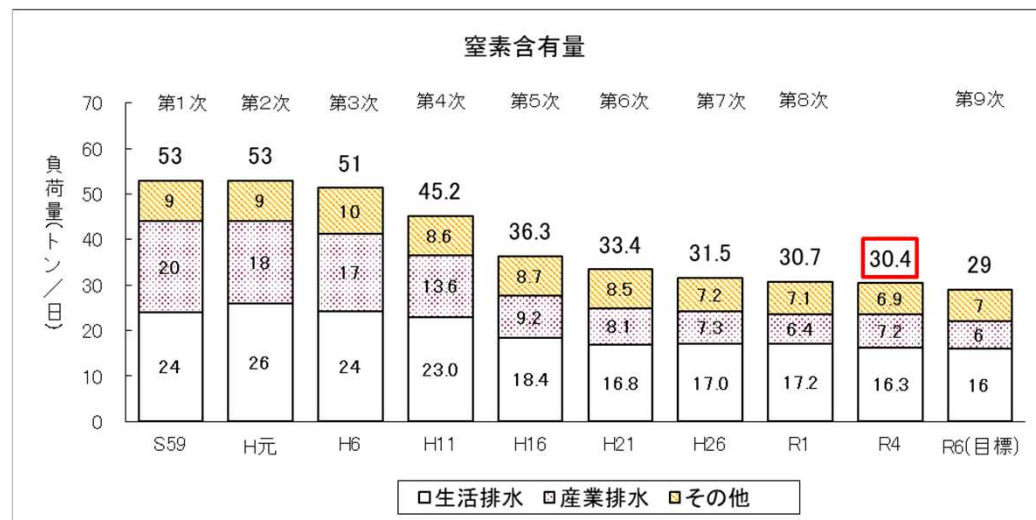
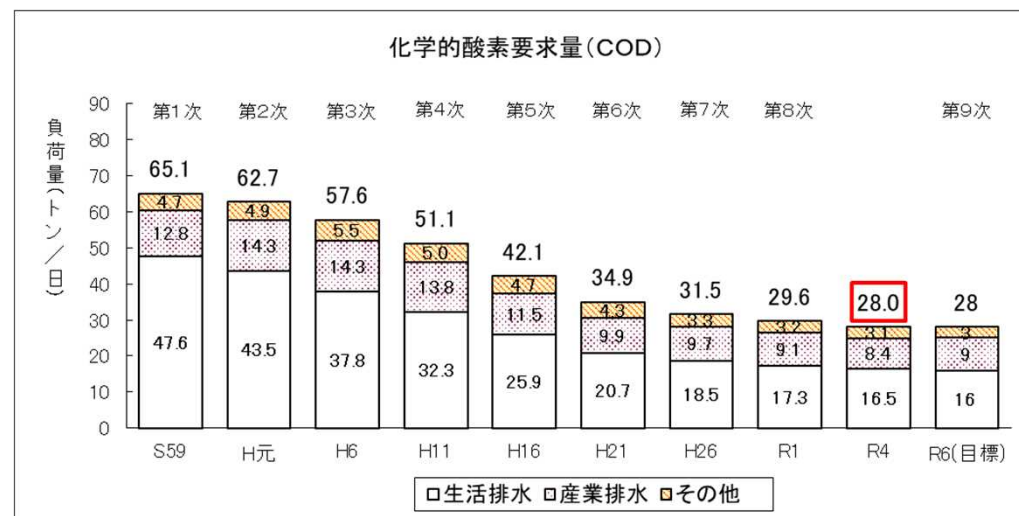
青潮の発生状況(千葉県調査)



千葉県の水質の現状

汚濁負荷量の推移

- ・ 第1次計画と比較して5割程度削減
- ・ **全ての発生源**において、**負荷量の削減**が進んでいる。
- ・ 近年の削減量は**微減で推移**。



生活排水対策

◆下水道整備の推進

江戸川左岸流域下水道では下水水量増加のため、江戸川第一終末処理場を整備。水処理1系列が完成し、令和3年3月から供用開始。



◆高度処理の導入

東京湾の富栄養化対策のため、

高度処理（凝集剤併用型ステップ
流入式多段硝化脱窒法）を導入。

【実績】 T-N 約5~6 mg/L（排水基準：20 mg/L）

T-P 約0.1 mg/L（排水基準：1 mg/L）

第9次総量削減計画に係る取組

生活排水対策

◆浄化槽設置者への補助

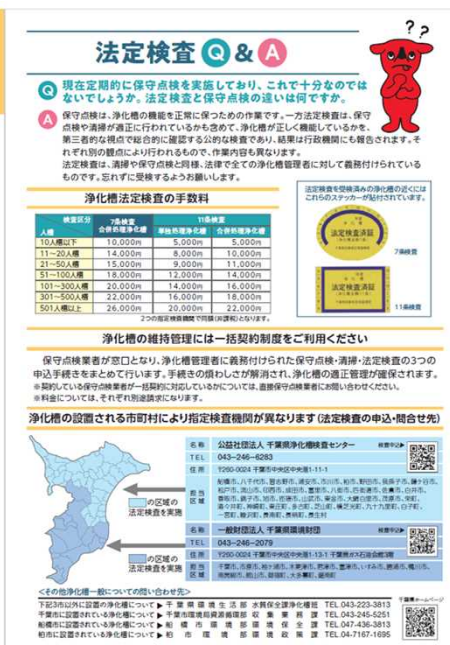
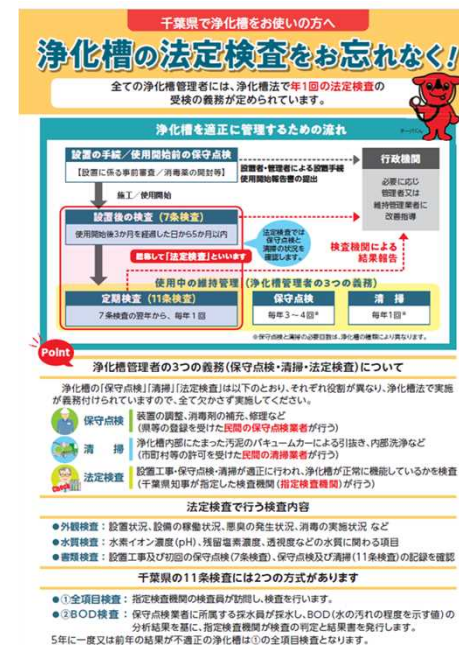
○市町村が実施する助成事業の経費の一部を補助（実績：R5設置補助284基）

- ・ 単独処理浄化槽から**合併処理浄化槽への転換**推進
- ・ **高度処理型浄化槽の普及**（閉鎖性水域における上乗せ補助）

例：高度処理型浄化槽（N10型）の設置に対し、
上限20万円を県と市町村で上乗せ助成する

◆浄化槽設置者への啓発

- ・ リーフレットの配布等による、
適正な維持管理の啓発
- ・ 法定検査未受検者に対する受検指導



法定検査 Q & A

現在定期的に保守点検を実施しており、これで十分なのではないでしょうか。法定検査と保守点検の違いは？

保守点検は、浄化槽の機能を正常に保つための作業です。一方法定検査は、保守点検や清掃が適正に行われているかを含めて、浄化槽が正しく機能しているかを、第三者的な観点から総合的に確認する公的な検査であり、結果は行政機関にも報告されます。それぞれの観点により行われるもので、作業内容も異なります。

法定検査は、清掃や保守点検と同様、法律で全ての浄化槽管理者に対して義務付けられているものです。忘れずに受検するようにお願いします。

浄化槽法定検査の手数料

浄化槽区分	浄化槽区分	浄化槽区分	浄化槽区分
10人未満	10人未満	10人未満	10人未満
11~20人	11~20人	11~20人	11~20人
21~50人	21~50人	21~50人	21~50人
51~100人	51~100人	51~100人	51~100人
101~300人	101~300人	101~300人	101~300人
301~500人	301~500人	301~500人	301~500人
501人以上	501人以上	501人以上	501人以上

浄化槽の維持管理には一括契約制度をご利用ください

保守点検業者が窓口となり、浄化槽管理者に義務付けられた保守点検・清掃・法定検査の3つの申込手続きをまとめて行います。手続きの煩わしさが解消され、浄化槽の適正な管理が確保されます。

※同時に以下の事業が一括契約に付随している場合は、一括契約の価格に引き上げさせていただきます。

※料金については、それぞれ別途請求書になります。

浄化槽の設置される市町村により指定検査機関が異なります（法定検査の申込・問合せ先）

千葉県内市町村の指定検査機関一覧

千葉県内市町村の指定検査機関一覧

千葉県内市町村の指定検査機関一覧

第9次総量削減計画に係る取組

産業排水対策

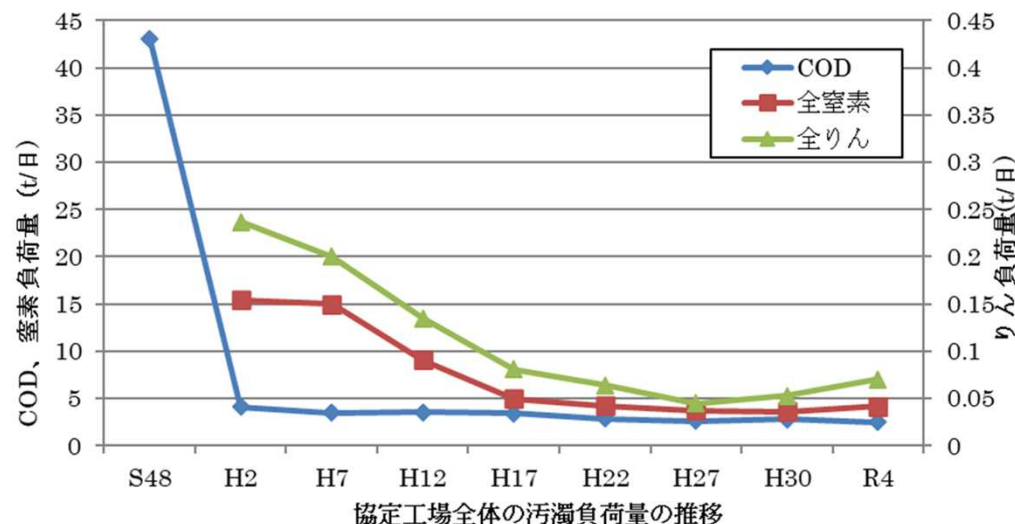
◆総量規制対象事業場に係る確認・指導等

規制対象事業場に対して、立入検査を実施し、
基準の適合状況の確認・指導を実施。

◆京葉臨海地域主要企業との環境保全協定の締結

京葉臨海地域の主要**企業と県、
市の三者間**で環境保全協定を締結。
水質汚濁防止法よりも厳しい
協定値を事業者ごとに定めている。
⇒協定締結前から

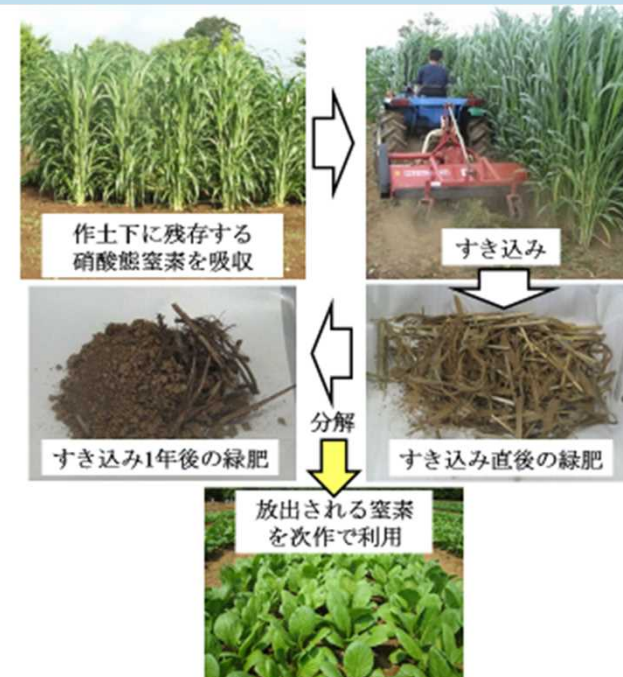
COD約**90%**、全窒素と全りん約**30%**削減



その他発生源対策

◆農地からの負荷量削減対策

- ・ 緑肥作物を活用することによる減肥
→畑地からの硝酸態窒素の溶脱が減少



◆畜産排水対策

- ・ 家畜排せつ物の処理施設整備の経費一部を補助
 - ・ 家畜ふん堆肥の利用促進のため、畜産農家の堆肥情報を千葉県HPに掲載
- R6年度登録者： 1 2 3 （指定地域のみ）

◆養殖漁場の改善

- ・ 漁業関係者の協力のもと、養殖場の環境を調査し、適正な給餌、適正密度での飼育等について技術指導

水質浄化事業の推進

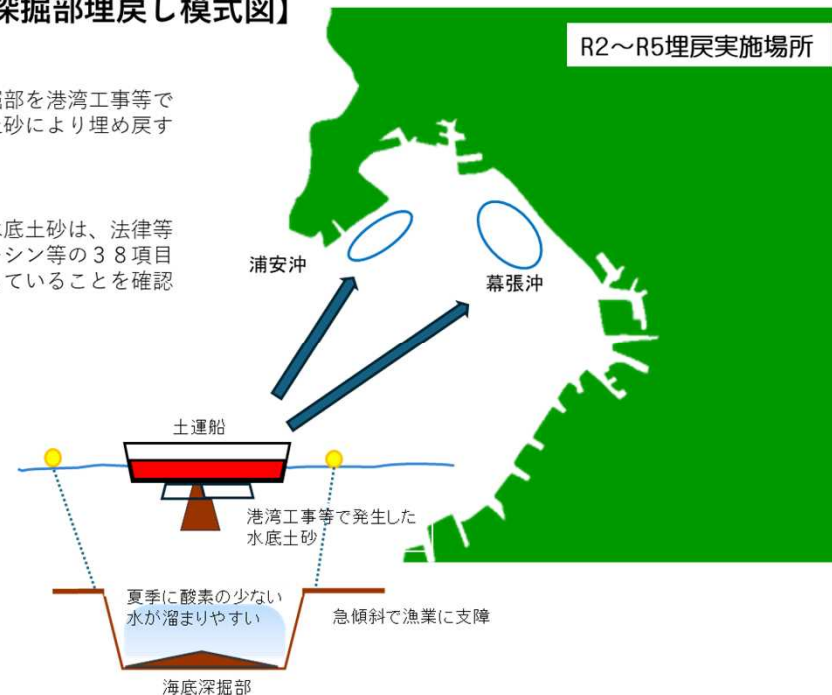
◆湾奥部における流況改善

東京湾奥（浦安市―千葉市）
にある**大規模な深堀部**を埋め戻し、
漁場機能を回復する。

【水底土砂による深掘部埋戻し模式図】

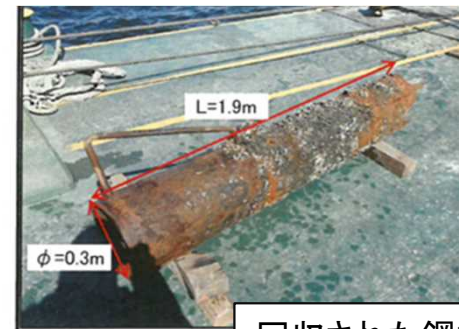
浦安沖・幕張沖の深掘部を港湾工事等で発生した良質な水底土砂により埋め戻す

埋戻しに使用できる水底土砂は、法律等で定められたダイオキシン等の38項目について基準に適合していることを確認されたもの



◆海底障害物の調査、除去及び処分経費の補助

- ・ 漁具による**障害物の除去**
- ・ 大きな遺棄物の潜水調査、クレーン船での回収及び処分



回収された鋼管杭

第9次総量削減計画に係る取組

水質改善に資する取組の推進

◆藻場・干潟の保全

漁業者等が実施する**藻場・干潟保全活動を支援**

(例) 食害生物（ツメタガイ等）の除去、
食害防除網の設置、母藻の投入 等



◆貧酸素水塊対策等に関する研究

千葉県水産総合研究センターでは、**大学やその他研究機関と連携し、**

貧酸素水塊対策や栄養塩類等に関する研究を行っている

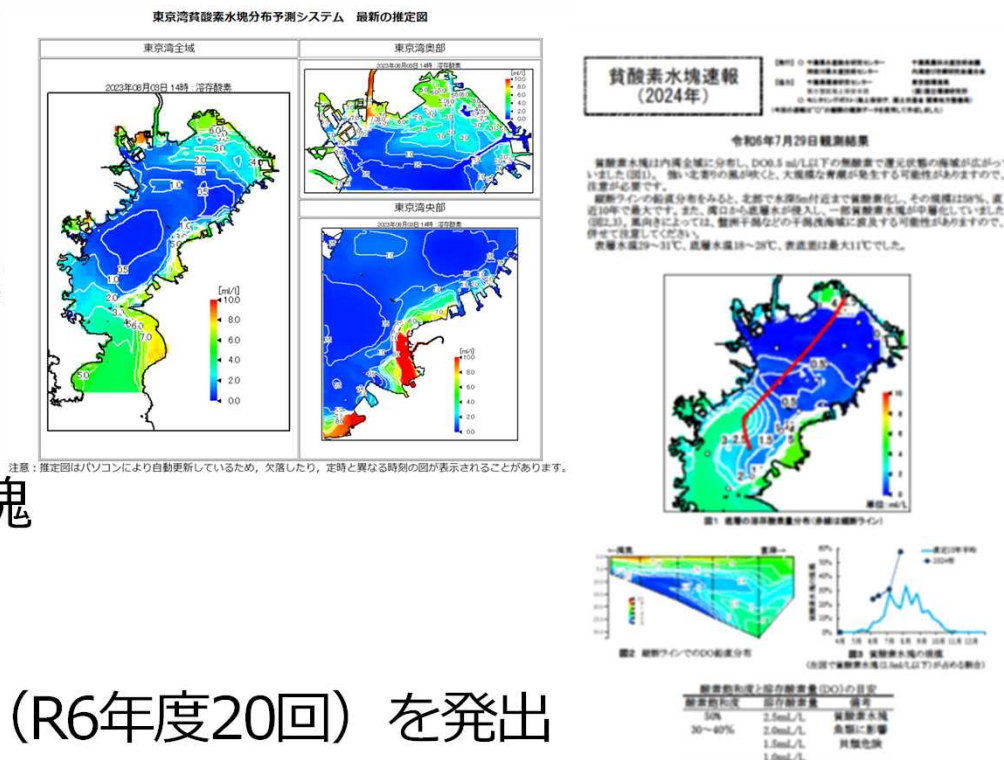
例：浅場・マウンド造成による貧酸素水塊の影響軽減効果の検証

第9次総量削減計画に係る取組

教育・啓発等

◆情報発信

- ・ 漁業者と共同で水質（水温・DO等）観測を実施
- ・ 県ホームページで東京湾貧酸素水塊分布予測システムを公開
- ・ 関係機関と連携し貧酸素水塊速報（R6年度20回）を発出



◆啓発活動

環境イベントに出展し、展示等により
県民向けの啓発活動を実施。

（実績：エコメッセinちば、いちほら環境フェスタ等）



- ・生活・産業排水対策は進んでいるものの
近年の東京湾の水質は横ばい
- ・特にCODは、環境基準達成率が40～60%で推移
- ・東京湾内での赤潮・青潮は継続発生
- ・のり養殖漁場を含む一部海域での栄養塩類不足の指摘

